昭和60年度

秋田県環境技術センター年報

第 13 号

秋田県環境技術センター

はじめに

本県においては、より良い環境づくりのため、県民の理解と協力のもとに鋭 意環境行政に取り組んでいるところでありますが、当環境技術センターにおい ても環境行政と一体となって、環境・公害に係る新しい技術・情報の収集、専 門的な調査・研究を行ない、問題解決に努めてまいりました。しかしなお解決 すべき課題もあり、これについては今後の調査・研究にまたねばなりません。

本書は、年報第13号として、昭和60年度における環境技術センターの事業の概要と調査・研究の結果をとりまとめたものですが、環境保全施策の基盤の強化の一助となれば幸いです。

御高覧の上、御指導、御助言を賜わりますようお願いいたします。

昭和61年12月

秋田県環境技術センター

所長 進 藤 政 勝

目

	10	_		
I	沿		革	1
II	庁	舎の)概要	·· 1
III			織······	
	1 1	幾樟	背と事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	2	職員	配置	5
	3 I	職員	· 名簿···································	6
IV	予		算	8
V	主	要機	後器	9
VII	業	務 棚	[要·····	13
	1 ;	大気	.関係	13
	(1)	排	出基準検査	1]
	(2)	使	- 用燃料油の硫黄分検査	11
	(3)	浮	- 遊粉じん調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
		1)	秋田市街地域	13
	:	2)	製錬所周辺地域	13
	(4)	騒	音・振動	18
		1)	秋田空港周辺航空機騒音調査	-18
	:	2)	能代港湾整備事業騒音振動調査	•18
	:	3)	男鹿市船川港内公有水面埋立事業(国家石油備蓄基地)に係る騒音・振動調査	•18
		4)	特定工場等騒音・振動実態調査	-18
	. !	5)	航空機による商業宣伝活動に係る騒音調査	-18
	(5)	悪	臭調査	-19
	(6)	道	路近傍における浮遊粉じん等の実態調査	•19
	(7)	FE	水成分調査	•19
	(8)	総	合大気環境保全対策検討調査(大気汚染監視に関する検討調査)	.19
	(9)	大	気汚染常時測定局の測定結果	.19
		1)	測定局の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·19
	4	2)	測定結果	·21
		T)	.21

	② 自動車排出ガス		35
	2 水質関係		40
	(1) 水質環境調査	••••	40
	1) 十和田湖水質環境調査	•••••	40
	2) 田沢湖水質環境調査	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	42
	3) 八郎湖水質環境調査	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	42
	4) 八郎湖周辺河川水質環境調査	•••••	43
	(2) 工場・事業場排水基準検査	••••••••	44
	(3) 八郎湖における水質汚濁物質負荷量削減に関する調査		44
	1) 幹線排水路調査	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	44
	2) 增水時河川調査	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	47
	(4) 出羽丘陵北部・東部・西部地区水質調査		48
	(5) 生活雑排水の浄化試験		48
	3 土質関係		48
	(1) 土壌汚染対策調査		48
	1) 細密調査		48
	2) 汚染米調査		48
	(2) 休廃止鉱山対策調査		49
	(3) 酸性雨による土壌影響調査		49
	(4) 土壌汚染環境基準設定調査		49
	(5) 自然環境保全基礎調査湖沼調査		49
	(6) 酸性河川調査		50
	VII 報 文·····		51
	・道路近傍における浮遊粉じん等の実態について(Ⅳ報)		51
	・秋田市内における雨水成分の調査結果について		
	・八郎湖調整池のプランクトン相について		84
	・都市河川の汚濁に関する調査 — 大腸菌群、洗剤、油脂類について -		·· 101
,	VIII 資 料······		·· 111
	・二酸化硫黄高濃度出現時の低層大気		·· 111
	・生活雑排水の浄化に関する研究 ― 流入量別除去効果試験 ―		
	IX 学会等		·· 121

I 沿 革

秋田県公害技術センター設置 昭和45年7月1日 大気科、水質科2科で発足 設置場所→秋田県工業試験場内 土質科増設 昭和46年4月1日 昭和46年10月1日 企画開発部から環境保健部所属換 テレメーター係、管理係増設 昭和48年4月1日 現庁舎完成 昭和48年7月19日 昭和55年7月1日 公害技術センター設置10周年記念行事実施 環境保健部から生活環境部所属換 昭和56年4月1日 環境技術センターに名称換 昭和58年4月1日 テレメーター係を大気科に統合

秋田市八橋字下八橋191-18

鉄筋コンクリート造3階建 延1,959.48㎡

 $6.664.54\,\mathrm{m}^2$

車庫(試料処理室含む)

1 位.

建

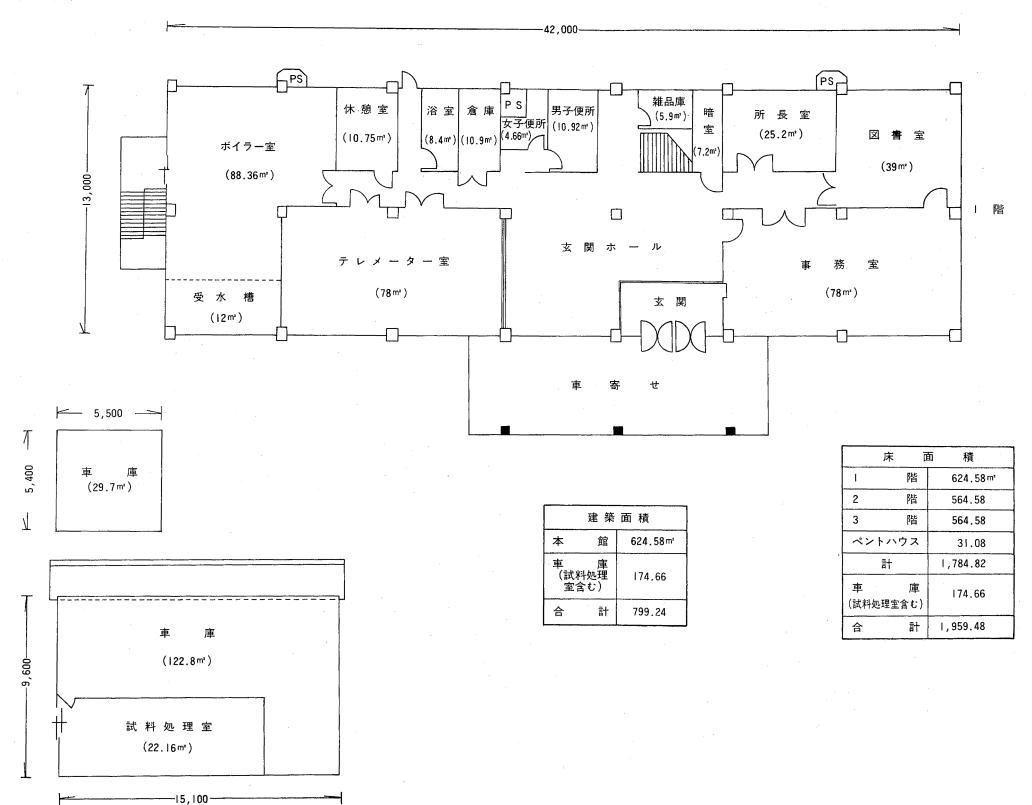
2

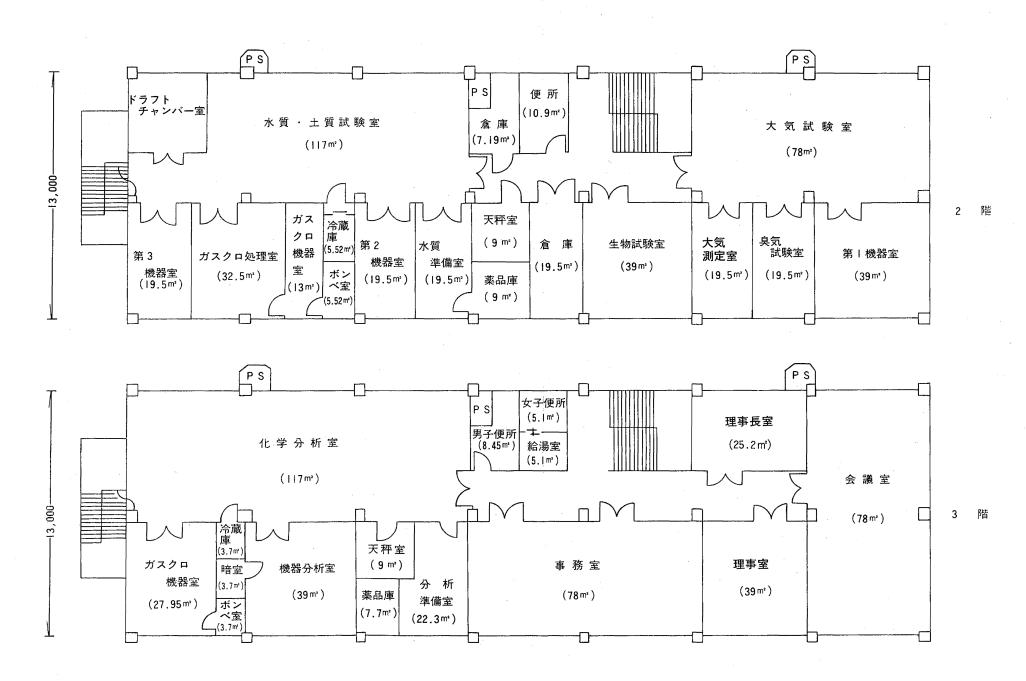
置

敷地面積

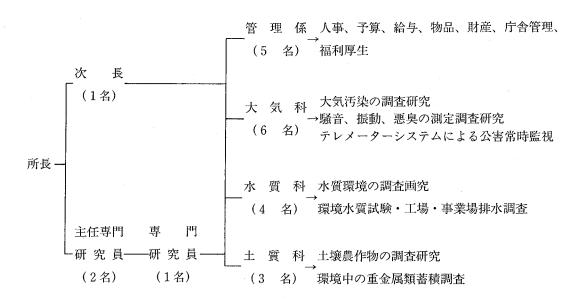
II 庁舎の 概

建物の主な内訳 624.58 m² 1階 テレメーター室、所長室、事務室、図書室、ボイラー室 $564.58\,\text{m}^2$ 2階 大気、臭気、生物、水質、土質の各試験室、ガスクロ機器室 $564.58\,m^2$ 3階 会議室、財秋田県分析化学センター $31.08\,\text{m}^2$ 4階 ペントハウス 174.66 m²





1 機構と事務分掌



2 職員配置

61.4.1 現在

区分	事務吏員	技術吏員	運転技師	計
所 長		1		1
次長	1			1
主任専門研究員		2		2
専門研究員		1		1
管 理 係	3		2	5
大 気 係		6		6
水 質 科	1	3		4
土 質 科		3		3
計	5	16	2	23

			Ι	1177	±π c	Λ / -	ದ್	1177	#n ^	1 5	uda:	
科	係	名	職名	田 氏	和 6	0 年	<u></u>	昭 氏	和 6	1 年	<u>度</u> 名	備考
			所 長			MANUF.	· ·	進	藤	政	勝	環境保全課から
			n .	=	浦	竹泊	台郎					環境保全課へ
			次 長	伊	藤	富泽	津雄	伊	藤	富河	聿雄	
			主任専門研 究 員	藤	盛	義	英	藤	盛	義	英	
			"	大	橋		猛	大	橋		猛	
			専門研究員	高	田		EE.	高	田		熙	
管	理	係	係 長					金	野	哲	治	農地整備課から
			"	北	島	静				•		交通安全対策課へ
			主 任	桑	原	恵	子	桑	原	恵	子	
			主 事	吉	田	和	彦	吉	田	和	彦	
			技師(運転)	米	田	信	夫	米	田	信	夫	
			"	鈴	木	春	樹	鈴	木	春	樹	
大	気	科	科 長	小	玉	幹	生	小	玉	幹	生	
			主任技術員	国	部	+=	郎	围	部	+=	二郎	
			主 任	斎	藤	-	学	斎	藤		学	
			"	泉		博	克	泉		博	克	
			"	藤	島	直	司	藤	島	直	司	
			技 師	高	橋		浩	高		橋	浩	
	•		"	斎	藤	勝	美					秋田保健所へ
水	質	科	科 長	瓜	生	信	彦	瓜	生	信	彦	
			主 任					鈴	木	雄		大館保健所より

乔	斗	係	名	職	名	昭氏	和 6	0 年	度 名	昭氏	和 6	1 年	度名	備	考
力	k	質	科	主	任	湯	Л	幸	部		***			能代保健所へ	
i				主	事	塚	田	善善	也	塚	田	善善	也		
				技	師	石组	郭岡		平日	石组	邶岡		晋		
±		質	科	科	長	武	藤	公	=	武	藤	公	=		
				主	任	菅		雅	春	菅	-	雅	春		
				技	師	松	田	惠玛	里子	松	田	恵理	—— 里子		

予 算

IV

(単位:千円)

										(単位	. 1 1 1/
	款		項	目		節		60 年 度 予 算 額	61 年 度 予 算 額	備	考
衛	生	費	環境衛生費	公害対策費	報		酬	882	912		
					共	済	費	374	454		
					賃		金	3,829	3,840		
					報	償	費	104	138		
					旅		費	2,704	2,881		
					需	用	費	42,034	40,259		
				·	役	務	費	12,819	13,680		-
					委	託	料	13,272	12,300		
					使賃	用料 2 金	及び 料	132	632	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
		-			工具	事請 負	負費	_	_		
					備品	品購え	人費	15,651	10,600		
					負担 及て	旦金ネ ど交イ	甫助 寸金	35	35		
					公	課	費	121	121		
	計							91,957	85,852		

V 主 要 機 器

機器名	規	格	数量	備	考
テレメーター装置一式	日 立		1	,	
風向·風速計	光 進 海上電機	MV-110 SA-200	15		
一酸化炭素自動測定機	日立堀場 A A	PMA-2,000 PMA-3,000	6		
二酸化硫黄自動測定機	電気化学 紀本	GRH—73 316	14		
窒素酸化物自動測定機	紀 本 電気化学	212 · 214 GPH74	15		
オキシダント自動測定機	京都電子	OX-07	4		
炭化水素自動測定機	日立堀場 A 島 津	PHA-3,000 HCM-3AS	2		
標準オゾン計校正装置	紀 本		1		
標準ガス発生装置	紀 本	SGG— 2	1		
アンダーセンエアサンブ ラ	高 立		3		
自動イオウ分析装置	理学電気	サルファX	1		
デジタル騒音計	リオン	NA—31	3		
ガスクロマットグラフ	島 津	GC— 4 BM 5 A • 7 A	7		
高速液体クロマトグラフ	島 津	LC— 3 A	1		
分 光 光 度 計	島津UV150 日本分光UV		2		
赤外線分光光度計	日本分光	IR—810	1		
自記分光光度計	目 立	356	1.		
蛍 光 分 光 光 度 計	島 津	RF—540	1	,	
原子吸光分光光度計	日 立 島津AA610	180—18 S•AA640	3		
水 銀 測 定 装 置	理学マーキ	ュリー	2		
金属成分抽出装置	日 立	550	1		
低温灰化装置	トラベロ		1	:	
土壌試料抽出振とう装置	三田村	MRK	1		
水質自動分析装置	テクニコン	AAII	1		

機器	名	規格	数量	備	考
T O C 測	定機	島 津 TOC-500	1		
パーソナルコンピ	ュータ	I BM 5550	1		
生 物 顕 微	改 鏡	オリンパス BHSU-SP	1		
藻類培養	装 置	伊藤製作所 AGP-150R	1		
全自動排水処理	里装置	同和鉱業 LIP50AH3	1		:
乾燥	器	タバイ	4		
監 視 用	船	ヤマハ VV-25	1		
環境測定	重 車	いすゞエルフ	1.		